



**ユネスコ無形文化遺産に
登録、世界に認められた
三つの伝統技法**

今も古代の技法が受け継がれ、細やかな手作業で作られている結城紬。

そのうち、「糸つむぎ・拵くり・地機織り」の三工程は、国重要無形文化財(昭和31年指定)、伝統的工芸品(昭和52年指定)、そしてユネスコ無形文化遺産(平成22年登録)に登録されています。

結城紬は、蚕の繭を煮て柔らかくした真綿から手でつむいだ絹糸を使い、腰の力を利用して地機でバランスよく織りあげること、軽くて暖かい独特の風合いに仕上がります。

また、拵くりによって一本一本の絹糸に施される模様は、細かいほどに時間を要します。このように、高い技術力と手間をかけ生み出される結城紬は、世界に誇れるわたしたちの宝です。

結城紬

その糸をまとうたびに
在る日の音色が
聞こえてくるようです
ぎゅぎゅつぎゅぎゅつ 糸つむぎ
ぱちんぱちん 拵くり
とんとんとん 地機織り
先人たちの知恵と工夫によって
幾百年に渡り
受け継がれてきた 絹の名品
結城紬はつくる人の
ぬくもりを感じ取れる
結城の生んだ至宝です



本場結城紬の証
本場結城紬卸商協同組合の商標に、赤字で「結」の文字が記載されます。また本場結城紬検査之証として合格証紙も付属されます。

製作工程



1 養蚕～真綿かけ
絹糸の元「繭」をつくる蚕を養育。繭はぬるま湯の中で括げて袋真綿にします。



2 管巻き～総あげ
つむいだ糸の集まりを糸車を使って管に巻き取り、総あげ機に巻いて輪状にします。



3 図案作成～機延べ
図案は色や模様の設計。機延べは延べ台に経糸をかけ一反に織るのに必要な長さに揃える作業です。



4 墨つけ
設計図案をもとに拵くりを行う部分に墨で目印をつけます。



5 かすり拵くり



6 糊抜き
湯通しで程良く糊を落とし、洗い張りをして独特の風合いに仕上げます。



7 検査・証紙
本場結城紬検査協同組合で行われ、決まった項目のチェックを受けます。



8 じばたお地機織り



9 はた機まき
糸の束の先に重石を付けて、くしでかしながら、緒巻きに巻いていきます。



10 のりつけおさ本糊付～箆通し
小麦粉を使って3回糊付けし補強します。乾燥後、箆に糸を通していきます。



11 たたき染め
拵くりされた糸を染料に浸し、台にたたきつけながらムラなく染み込ませます。

Jibata ori
This weaving technique involves the oldest form of weaving machine. Working with this type of machine, the weaver actually takes on part of the work. The vertical threads on the machine are hung from the weaver's waist, and the weaver adjusts the tension as they move along. This creates a warm, light texture to the textile.

Kasuri kukuri
To ensure that the dye does not get on the splash pattern, cotton threads are run through the inked part. Because each silk thread is dyed individually, the more detailed the pattern, the longer it takes to complete it.

Ito tsumugi
Ito-Tsumugi involves the spinning of non-twisted yarn, in a process not seen anywhere else in the world. Silk floss obtained by boiling silk-worm cocoons is placed on a tool called a "tsukushi" and pulled. From there it is collected in a special tub "oboke."

Three traditional methods recognized globally with registration as a UNESCO Intangible Cultural Heritage
Yuki Tsumugi is made by hand, featuring techniques from ancient times. The three processes of Ito-Tsumugi, Kasuri-Kukuri, and Jibata-Ori have together been registered as a national Intangible Cultural Property (1956), Traditional Craft (1977), and as a UNESCO Intangible Cultural Heritage (2010). Yuki-Tsumugi, which involves superior technique and also extremely time-consuming—requiring a great degree of meticulousness—is a treasure proven worthy of the global stage.

